

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p style="text-align: center;">理 事 会 議 事 録 (第 2 回)</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成23年6月25日(土) 9:30~11:50
出 席 者	<p>出席者・辻森、大垣、梅本、河合、上田、小幡、阪本、野邊、高槻、廣岡、竹原、吉野、加納、森永、山中、松村、東監事、谷川地域担当員、中森地域担当員。</p> <p>欠席者・田合監事、</p>
<p>議事</p> <p>決議事項</p> <p>1. 議事録署名人</p> <p>2. 自主防災隊組織に関する件</p>	<p>大垣副会長（総務委員長）が司会をつとめ会議が始まった。</p> <p>辻森会長から、日頃の各委員会、部会の皆さんの活動に感謝している。これからは夏まつり等大きな行事が控えているので、一致団結して取り組んでいただきたいと挨拶があった。</p> <p>引き続き、辻森会長が議長となり、議事の審議に入った。</p> <p>本会議の議事録署名人に河合進氏、上田博氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>大垣副会長から、先日の自治連合会に諮り承認された「桔梗が丘自治連合協議会自主防災隊指針」及び「同規約」案を事前に配布させていただいたのでご検討いただきたい。又、要援護者登録希望者を訪問する際の挨拶文も合せてご審議いただきたいと述べた。</p> <p>大垣副会長から、指針・規約について変更すべき点はないか。桔梗が丘消防班から「指針」の中に団員の確保についての項目を盛り込んでいただきたいとの申し出があったので、ご意見を頂きたい。参考にその資料を配付していると述べた。</p> <p>語句の訂正について審議し、次の1~8までがそれぞれ承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指針4-7に「桔梗が丘消防団員を1名選出する。」を追加。</li> <li>2. 指針5.(4) 6ヶ月後→毎に訂正</li> <li>3. 指針5.(8) 防災器具→等を追加</li> <li>4. 指針5-9に「名張市消防団桔梗が丘分団の設立に向けて協力する」を追加。</li> <li>5. 指針6.(1) <u>地盤的等</u>により→<u>地盤の状況等</u>によりに訂正</li> <li>6. 規約第6条第4項存在期間→在任期間に変更</li> <li>7. 規約第6条第2項(3)は第3項に移行する。(各区長、自治会長は小隊を組織する旨を定めた項に組み入れる。)</li> <li>8. 登録シートの支援を必要とする内容欄の世帯は簡潔に表現する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老夫婦世帯→高齢者世帯に訂正する。</li> <li>・妻と老夫婦世帯、<u>緊急連絡先1.</u>を削除する。</li> <li>・日常必要な生活用具→介助用具に変更する。</li> <li>・現在入っている福祉サービス→現在利用している福祉サービス。</li> </ul> </li> </ol>

辻森会長から、補足意見として、消防団桔梗が丘班の団員確保が厳しい状況にあるが、その重要性に鑑み、各自治会（区）から最低1名の選任をお願いしたい。従ってその旨を指針に盛り込んでいきたいと考えている。消防団がどのような活動をしているかは資料を参照されたいと述べた。

Q. 個人情報保護の観点から、名簿（登録シート）の保管はどうするのか。

A. 名簿は地域の代表者（自治会長・区長）と事務局で保管することになる。

Q. 個人情報保護法に照らした管理方法を整理した方がいいのではないか。

Q. 登録情報の変更手続きを定める必要がある。

A. 個人情報保護法に基づいて、別途細目を定めた規約を9月末までに考えている。（変更手続きも含めて）

Q. 登録シートの作成にあたっては、各自の要支援の程度を把握することも必要ではないか。

A. 地域福祉部会員は民生委員が多く兼任しており、各地域の支援が必要な家庭はそれぞれ把握しているので、ある程度の対応は出来る。

引き続き、各地区の要援護の現状と対応策について意見交換があり、次の事項が今後の検討課題として了承された。

- ・ 実際の災害時にうまく対応するためにはどのようなことが必要か検討する。
- ・ 重要なことは緊急・非常時よりも、日常の見守りであるから、その具体策を考える。
- ・ 地域の住民の関心を高めるためと、援護の実情を知ってもらうための啓蒙活動が必要。

議長から、桔梗が丘自主防災組織設立のための、「規約」「指針」「登録シート」について、再度、文言の訂正箇所を確認後採決に移り、全員挙手し採択された。

#### 報告事項

##### 1. 名張市地域づくり代表者会議の報告

##### (1) 2011名張川納涼花火大会への協力依頼について

辻森会長から、名張市地域づくり代表者会議について、次の6項目の報告があった。

##### (1) 2011名張川納涼花火大会への協力依頼について

名張川納涼花火大会実行委員会から、市内各企業等からの協賛金の確保が厳しい状況にあるので、市民に幅広く協力を呼びかけるため、公民館に募金箱の設置と、地区住民に協賛金依頼の回覧の依頼があった。

桔梗が丘地区は募金箱を桔梗が丘公民館に設置、回覧は各地域の判断に任せることとした。

##### (2) 三重県総合防災訓練への参加協力依頼について

##### (2) 三重県総合防災訓練への参加協力依頼について

名張市長（担当：危機管理室）から、本年9月4日（日）名張市を中心に実施される「三重県総合防災訓練」に参加要請がある。具体的内容は別添資料を参照いただきたい。

については、桔梗が丘地区からは、第一希望を訓練項目の「NO. 4 救助・救出訓練」、第二希望を「NO. 3 初期消火・救出訓練」として提出した。参加必要人数20名は、桔梗が丘地区の各ブロックから4名の計16名、生活安全部会から4～5名お願いすることにした。

<p>(3) 名張市ハザードマップの作成について</p>	<p>(3) 名張市ハザードマップの作成について  名張市危機管理室は、平成15年度に作成した「名張市自主防災マップ」を平成23年度、24年度において改めて作成することになった。  については、市が指定している避難所以外に、地域において集会所や公園等を一時避難所・避難地に、指定している箇所を「名張市ハザードマップ」に掲載希望する地区は申込書を提出することになった。</p>
<p>(4) 災害時要援護者支援制度の推進について</p>	<p>(4) 災害時要援護者支援制度の推進について  名張市危機管理室は、災害時要援護者支援制度の推進について、対象者が本年2月1日時点で3,692人(2,812世帯)あるが、5月末に1,260人分を取りまとめた。6月中に各地区の同意者リスト作成し、7月中旬頃から同意者リストを配布する予定をしている。防災ラジオの配付は10月頃になる予定である。</p>
<p>(5) 夏場での生ごみ資源化試行事業の実施について</p>	<p>(5) 夏場での生ごみ資源化試行事業の実施について  名張市長(担当:環境対策室)は、生ごみ資源化試行事業推進に伴う対策として、夏場での試行事業を実施することになった。については、試行に協力できる地域を募集している。(詳細については別添資料を参照。)</p>
<p>(6) せん定枝粉碎処理車の処理にかかる集積場所の選定について</p>	<p>(6) せん定枝粉碎処理車の処理にかかる集積場所の選定について  名張市生活環境部環境対策室は、家庭や地域で発生するせん定枝について、これを燃やすごみに出すことなく二次粉碎機付せん定枝粉碎処理車によって粉碎処理が出来る事となった。希望する地区はそれぞれ申し込むことになる。(詳細については別添資料を参照)</p>
<p>2. 事業活動時に着用する「ベスト」の作成について</p>	<p>引き続き辻森会長から、名張市地域経営室は、名張市広報を活用した地域づくり組織の活動紹介のために「市広報紙」に掲載枠を設定した。については記事の原稿作成の以来があったので、広報委員会に作成を依頼した旨述べた。  桔梗が丘地区の紹介は平成23年10月第2週に掲載される予定。  以上の報告事項について、次の確認事項があった。  ・せん定枝粉碎処理車の利用は各地区単位で申し込むこが、市の委託事業の分については別途名張市側と協議する事とする。  ・生ごみ資源化分別収集について当地区は引き続き反対して行く方針を確認する。</p>
<p>3. 桔梗が丘夏まつりについて</p>	<p>大垣副会長から、事業活動時に着用する「ベスト」の作成について、4月16日開催の第1回自治連合会で提案され、その後、定時総会及び理事会に於いて承認されたが、本日展示している(オールメッシュ地、オレンジ色の背中の部分に“ほっとまち桔梗が丘”「桔梗が丘自治連合会」とプリント)「ベスト」を400着発注すると、報告があった。  山中事務局長から、夏まつりの協賛金の依頼書を昨年の名簿に基づき今月20日に発送した。(見本を添付)  各自治会(区)長の方には、各依頼先に7月に入ったらお願いにお伺いいた</p>

	<p>くようお願いした、と述べた。</p> <p>フリーマーケット・模擬店の出店依頼書を発送した。地域の皆さんには7月にチラシを回覧する。出展者の会議を7月18日(月・祝)開催する。</p> <p>高槻健康推進部会長から、まつりの施設の設営について本年度は事前に構成を決め、混乱の無いようにしたい。ご協力いただく体制は昨年度と同じになるが、本部で応援いただく方の名簿を整理して、事前に割り振れるようにする。7月の自治連合会に於いて具体的な協力依頼をしたいと考えていると、述べた。</p> <p>基本的には各地域は評議員を含めて2名の応援をお願いしたいと考えている。作業の流れは昨年とほぼ同様の要領になると述べた。</p>
<p>4. 定時総会時の質問事項に対する回答について</p>	<p>大垣副会長から、本年度の定時総会で6番町の大野氏から出された質問状への回答をするにあたり、名張市教育委員会から「指定管理者における情報公開制度の運用並びに適切な文書管理について」別添資料のような通達があった。この通達を踏まえて添付した「回答書」を送付すると、述べた。</p> <p>辻森会長から、大野氏の問題については限が無いので、直接本人と会談を持つと述べ承された。</p> <p>引き続き大垣副会長から、名張市情報公開審査会から名張市教育委員会への答申内容の説明、そして名張市教育委員会から当協議会へ通達が届くまでの経過報告があった。</p>
<p>5. 平成23年5月末現在の協議会会計及び公民館会計の収支累計について</p>	<p>松村事務局次長から、平成23年5月末現在の協議会会計及び公民館会計の収支累計について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>協議会会計は総務費：事業費は5月22日(日)開催の研修会費用、会議費は総会資料印刷費、快適環境費：事業費は地球温暖化防止対策(グリーンカーテン)のゴーヤ苗配付等の費用、環境美化(クリーン大作戦)対策として清掃用品費を計上、地域福祉費：事業費は5月29日(日)の高齢者のつどい開催費用、配食サービスの「友～友」「いこい」と協働事業費、そして各地域のいきいきサロンへの補助費用の3事業費を計上した。</p> <p>公民館会計は管理費：委託・手数料は館内の清掃費及び特殊建物法定点検保守費用を計上、運営費：事業費は新講座「農を楽しむ」の苗の購入費等を計上した。</p>
<p>6. 夏場の省エネルギー・節電対策について</p>	<p>辻森会長から、名張市長から、夏場の省エネルギー・節電対策について、今夏は特に電力不足が懸念されている。については、名張市も市民及び事業者の協力のもと、全市を挙げて取り組んでいくことになった。各地域に対する取組みの協力依頼の通達があった。詳細については別添資料を参照されたいと述べた。</p>
<p>7. 委員会・部会報告</p>	<p>&lt;総務委員会&gt;</p> <p>大垣副会長(総務委員長)から、6月12日(日)「まちづくりに成功している市町村の具体的事例研究」の研修会を実施した。参加者は13名。目的地は滋賀県彦根市と長浜市であったが、特に彦根市では得る所が多かった。次年度も同様</p>

な研修会を考えているが、当桔梗が丘地区と類似した地域を考えてみたいと、報告があった。

#### <企画運営委員会>

阪本企画運営委員会長から、地域ビジョンの策定会議を毎週開催して進めている。最新の進捗状況は具体的施策のまとめに入っていると報告があった。

#### <広報委員会>

野邊広報委員長から、委員会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

- ・ 8月に「ききょう通信」47号を発行予定。掲載内容は先月報告のとおり。
- ・ 8月以降の編集にむけて各イベントを整理しているので情報を頂きたい。
- ・ ホームページの更新作業は今、出来るだけ毎月1回行って行く。一度アクセスして頂きたい。アクセス解析を行っているがその内容を資料に記載している。

#### <教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

- ・ 6月16日定例部会を開催して、7月開催の「桔”ずセミナー」について詳細を決定した。地区内の各小学校にチラシを配付、講師、ボランティアの依頼、事前講習会の開催について最終検討をした。
- ・ 桔梗夏まつりに模擬店の出店を決めた。内容は「まめまめまつり」と「飴のつかみどり」。
- ・ こころの思い発表会での要約筆記派遣を名張市に申請した。

#### <生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添資料に基き概ね次のような報告があった。

- ・ 6月12日（日）総務委員会の研修会に参加した。内容報告は資料を参照。1番印象に残った事は、大事なことは地域の絆づくりが最も大切だということ。もう一点は行政側との連携。
- ・ 6月18日（土）皇學館大學ふるさと講座に吉野、山本の2名が参加した。テーマは「住み続けたいと思えるまちとは」～安全・安心まち～であった。印象に残ったのは青色防犯灯についての話。参考に文献を配付しているので参考にしていただきたい。
- ・ 6月も青色回転灯装着車両による防犯パトロールを3回実施。巡回の結果は、いずれの回も異常はなかった。

#### <地域福祉部会>

梅本副会長（地域福祉部会長）から、部会活動について別添資料に基き概ね次

のような報告があった。

5月29日(日)公民館講堂で「高齢者のつどい」を実施した。参加者は高齢者158人、自治会(区)長23人、民生委員28人。

会計決算は収入307,222円、支出350,169円となり、不足分の42,947円は民生児童委員協議会に負担いただいた。当日の欠席者には同じものをお届けした。

5月末に協働事業の「赤ちゃん・ちびっ子なかよし広場」地域高齢者への配食と見守り事業「友～友」「いこい」に対してそれぞれ3万円を支出した。

以上の報告について、次のような質問があった。

Q. 不足分の42,947円の支出の原資はどうなっているか。

A. 桔梗が丘地区民生児童委員協議会の方から頂いた。民生委員会との共同事業となっている。従って民生児童委員協議会でも予算化されている。

この件について意見交換の結果、高齢者のつどいは全額協議会で負担出来ないか検討していくことになった。

#### <快適環境部会>

加納快適環境部会長から、6月の部会活動について概ね次のような報告があった。

・6月5日(日)名張市クリーン大作戦に協賛して、桔梗が丘地区のクリーン作戦(清掃)を実施。参加者70名が三班に分かれて清掃活動をした。

・6月11日(土)はたる観賞会を実施。参加者は150名。ケーブルテレビの取材があった。少し時期が早かったがホタルは見ら好評であった。

・環境省発行の「チャレンジe c oライフブック」にゴーヤの「グリーンカーテン」運動が取り上げられた。

・ゴーヤの料理教室を7月23日(土)開催するが、試食がある関係で定員を150名として、7月11日(月)から受け付けることになった。その後9月に栽培の写真展も予定している。

#### 8. その他

辻森会長から、地域づくり助成金の交付について、桔梗が丘地区からは桔梗西連合会(西2・3・4・5番町)に交付が決定した。金額は140万円。

本年度の実施については未定であるとの情報があると報告があった。

以上で議事は終了した。

次回、理事会は、平成23年7月23日(土)開催

時 間 午前9時30分


場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議

長

辻森保蔵

議事録署名人 河合 進 

議事録署名人 上田 博 

	副会長	副会長	総務委員長	書記
	